

常任委員会では、平成31年度予算について審議を行いました。  
なお、執行部に対して各委員会から次のように意見・要望しました。

## 総務振興委員会

- 財政の厳しい折、更なる歳入の確保に努め、行政コスト削減に工夫を求める。
- 消防費関係について
  - ・女性防火クラブが解散されるが、今後の対応を十分に検討されたい。
  - ・存続が危ぶまれている少年消防クラブについて、今一度中学校と協議し、ぜひ活動を再開されたい。
  - ・消防団本部員の災害時の初動活動の対策を望む。



- 職員の定数条例の一部改正があるが、事務事業に合った人員を望む。
- 農作物被害対策について、広域での対応について努力されたい。
- 空き家対策について、補助金を含めた対策を望む。

- 廃プラスチック回収がなくなり、可燃ゴミ処理費が増加している。ごみ処理の方法を様々な角度から調査研究されたい。



- 農業集落排水事業と公共下水道事業が公会計から企業会計に変更され、一般会計からの繰入金が増額になった。一般会計が圧迫されないよう検討されたい。

## 福祉文教委員会

- コミュニティスクールの初年度であり、学校運営協議会の主な役割・メンバー構成等について、教育目標に基づき偏りが発生しないよう求める。
- 小中学校の授業指導方針の変化や国際化に伴い、日本語指導・英語教育の充実に向け、教職員の研修等も含め手厚い指導を求める。
- 町民ふれあいプールの修繕計画・運営方針の明確化を求める。
- 中学校体育館の雨漏り対策について早急な対応が必要であるとする。



- 放課後児童健全育成事業でランチルームの活用が提案されたが、幅広い子育て支援での公共施設の活用を求める。

- 子育て支援拠点整備については、町長からコミュニティセンター周辺での計画に切り替えたため、準備期間として新年度予算計上はされないと説明があった。中身についての協議を今後いっそうしていきたい。
- 幼稚園嘱託職員（担任等）の処遇改善を求める。



- 社会福祉協議会への出向人事について、社会福祉協議会の自立を求める。
- デマンドタクシー運行について、周知徹底に努められたい。
- 健康ポイント制度の周知と、ポイント付与の工夫を求める。
- 後期高齢者医療保険料軽減措置の引き下げや窓口負担2割などにより、高齢者の生活支援について注視が必要である。